

2013-B					
拠出金・基金の名称		国連人間居住財団拠出金(サブサハラ)			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 国連人間居住計画 (UN-HABITAT)					
【所管官庁担当局課・室名】 外務省国際協力局地球規模課題総括課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>【Aid for Africa スーダン: ハルツームにおける弱者コミュニティのための緊急洪水対応事業】2013年の豪雨とそれに伴う洪水により、弱者グループが多く居住するKarariとEast Nileは深刻な被害を受けた。本事業では、政府やコミュニティが緊急対応として洪水に強い公共施設やインフラを建設するための能力向上を実施訓練等を通じて支援する。</p> <p>【Aid for Africa ソマリア: ソマリランド4都市における帰還民・国内避難民のための住宅、再定住、生計改善支援事業】ソマリランドのHargeisa North, Boroma, Burao, Berbera 4都市において、335軒の住宅を建設する他、水と衛生施設など、居住区に必要なインフラを整備する。また、男性・女性・若年層に職業訓練を行い、帰還民・国内避難民たちの再定住・生計手段の向上を支援する。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成25年度	319,800	3,900	-	1米ドル = 82円	100
平成24年度	-	-	-	-	-
平成23年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>【Aid for Africa スーダン: ハルツームにおける弱者コミュニティのための緊急洪水対応事業】2014年3月の拠出を受け、4月に事業を立ち上げた。現在までに事業実施体制を整えた他、ステークホルダーとの調整会議を重ね、事業を実施するコミュニティ4か所の選定も終了した。また、洪水被災に関する緊急査定を行うための調整を災害管理センターや大学と開始しており、事業は順調に進捗している。 【Aid for Africa ソマリア: ソマリランド4都市における帰還民・国内避難民のための住宅、再定住、生計改善支援事業】2014年3月の拠出を受け、4月に事業を立ち上げた。対象4都市のうち3都市(Boroma, Burao, Berbera)では平成24年度の支援事業(USD3.2million)を実施したことから、すでに事業実施のための環境が整っており、順調に進捗している。受益者の選定も終了しており、7月末には335軒の住宅建設に着手する予定である。</p>					